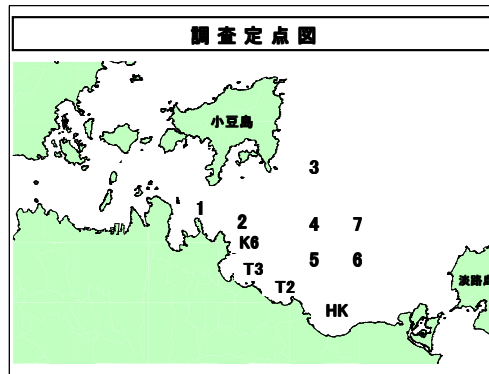


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2012. 9- 2号)

香川県水産試験場 益井
TEL: 087-843-6511

調査日: 9月18日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

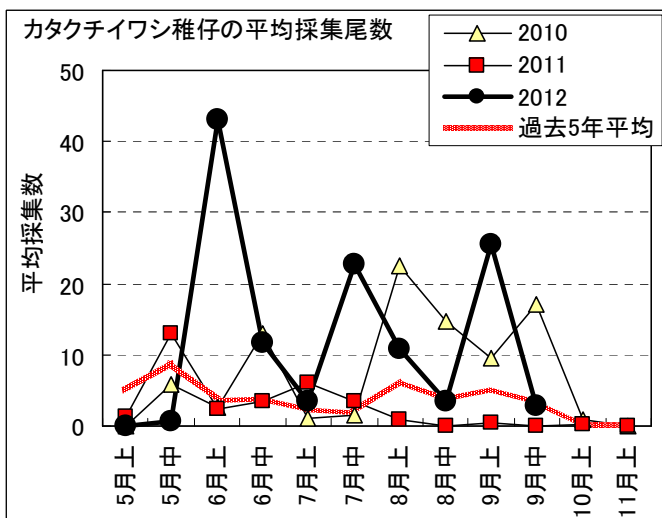
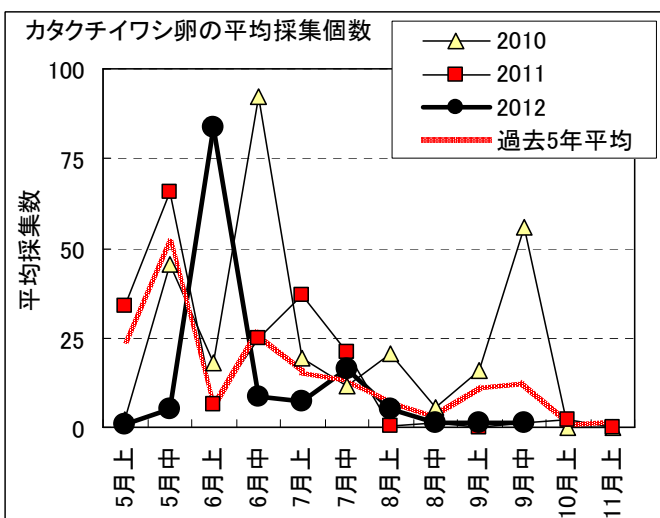


【カタクチ卵】 定点別出現数

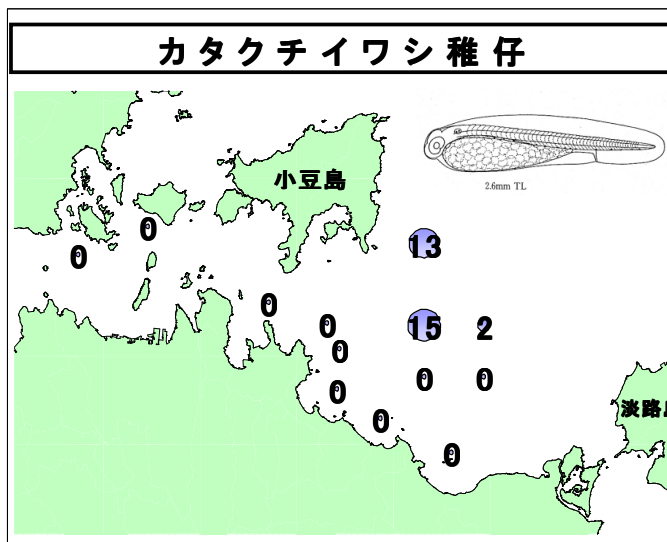
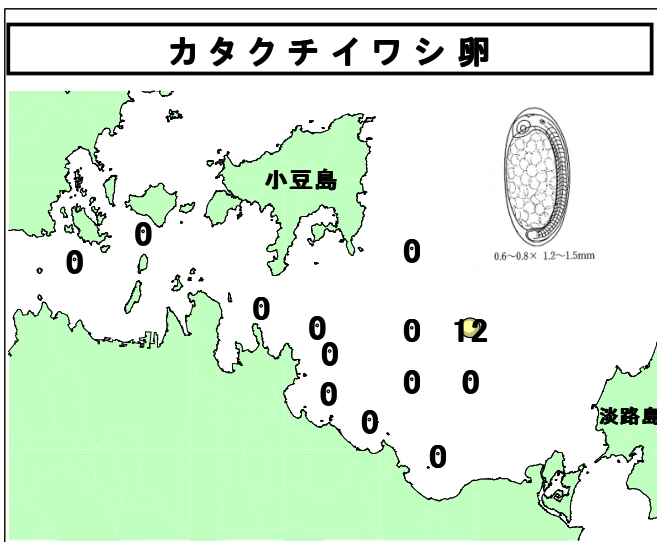
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.9.17	0	0	0	1	0	609	1	2	0	0	0	55.7
2011.9.15	2	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	1.5
2012.9.18	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	1	1.2

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.9.17	0	0	41	18	38	22	8	11	4	0	45	17.0
2011.9.15	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.1
2012.9.18	0	0	13	15	0	0	2	0	0	0	0	2.7



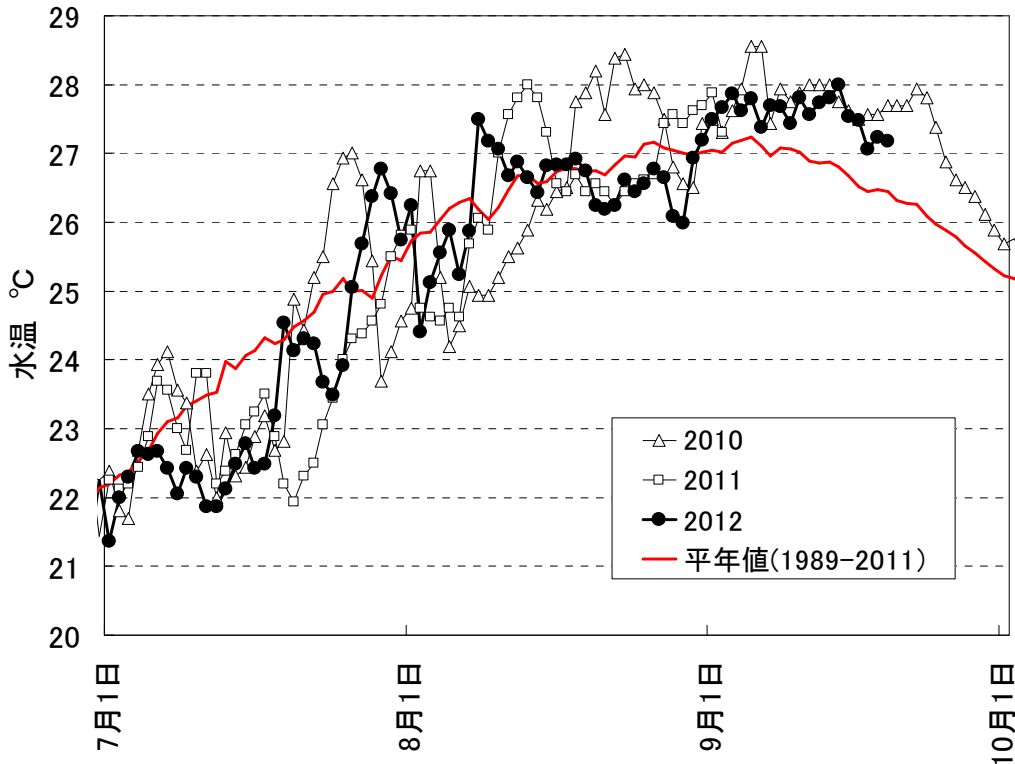
* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



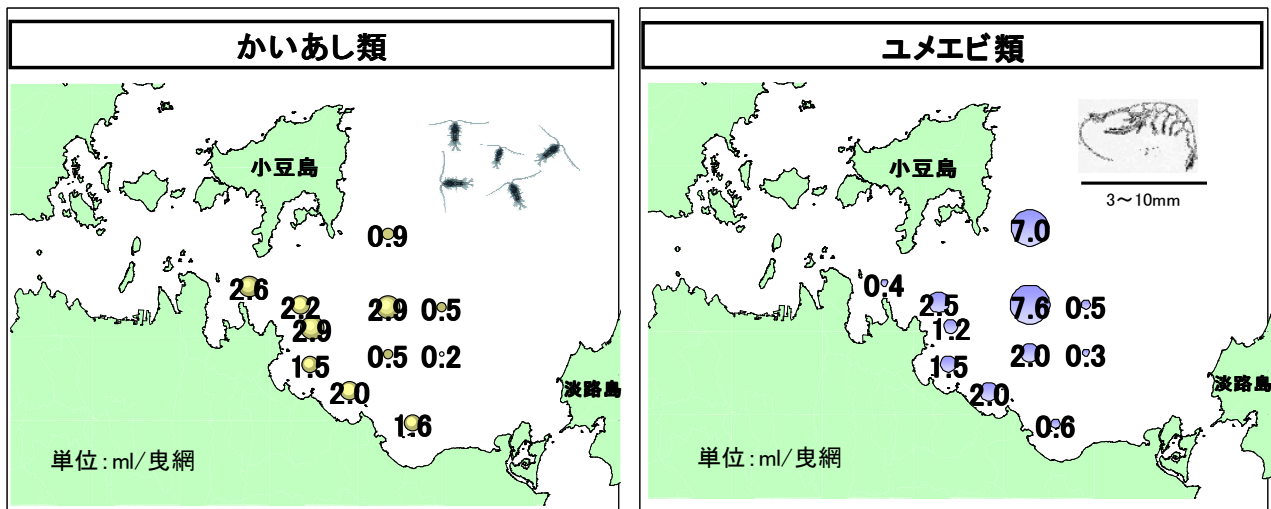
播磨灘11地点における卵の平均出現数は約1個で、平年同時期を下回った。
 一方、稚仔の平均出現数は約3尾で、前回調査(9月4日)から減少し、平年同時期と同水準であった。
 餌料生物として重要なかいあし類は、前回から横ばい傾向で、11点の平均は1.6mL/曳網であった。前回に引き続き、動物プランクトンのユメエビ類が多く見られた。
 引田沖の水温は、9月に入り総じて平年より高めで推移している。

【参考】

引田沖水温バイデータ(午前9時, 1.5m層)



* 2011年は水温バイの故障により、9/7~10/13のデータがありません。



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は、10月2日に浅海定線調査に合わせて実施予定です。